

静岡県月例経済報告

(令和6年11月号)

……令和6年9月を中心とした県内経済のすがた……

No. 583

HKexpress 香港エクスプレス | 富士山静岡空港

静岡=香港線
12月17日(火)から
運航開始

#グルメ #ナイトビュー #ストリートアート など

香港で楽しめることは盛りだくさん。
さあ、行こう!
静岡から香港旅へ。

The advertisement features a blue background with a white and purple HK Express aircraft flying over a cityscape. The text is in white and purple, with a circular graphic containing the flight start date.

— 静岡県経済産業部 —

目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	6
	・ 需要面	6
	・ 生産面	14
	・ 雇用面	16
	・ その他	19
III	静岡県主要産業の動向	23
IV	データからみた県内主要産業	26

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryoku/getsureihoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和6年9月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和6年9月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。
先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される。ただし、雇用・所得環境や海外経済、金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。
雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、持ち直している。
- ・ 設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

（下線部は前月からの変更箇所）

需要面

「個人消費は、持ち直している」

大型小売店販売額（9月）は、百貨店が3か月ぶり、スーパーが2か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額（9月）は、コンビニエンスストアが5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が4か月連続、ドラッグストアが41か月連続、ホームセンターが2か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも33か月連続で前年実績を上回った。

自動車（新車）新規登録台数（9月）は、乗用車が3か月ぶり、軽自動車が2か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数（9月）は、持家、分譲住宅がいずれも4か月連続、貸家が2か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも4か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額（9月）は、5か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観（9月調査）の令和6年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（9月）は、3か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額(9月)は、エアコンが4か月連続、二輪自動車類が3か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機が12か月連続、自動車は6か月ぶり、自動車の部分品が15か月ぶり、科学光学機器が2か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも6か月ぶりに前年実績を下回った。

また、輸入総額(9月)は、魚介類及び同調製品が3か月ぶり、自動車の部分品が2か月連続で前年実績を下回ったものの、木材、パルプ、原動機がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品が6か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,009億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる」

鉱工業生産指数(9月)は、業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械が5か月ぶり、電気機械が2か月ぶり、化学が2か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械、食料品・たばこがいずれも2か月連続、パルプ・紙・紙加工品が6か月ぶりに前年水準を下回ったため、総合でも2か月連続で前年水準を下回った。なお、前月比は2か月連続で減少した。

鉱工業在庫指数は、総合では3か月ぶりに前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率(9月)は1.12倍となり、前月と同水準となった。全国値を0.12ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(9月)は、18か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(8月)は、8か月連続で前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高(9月)は、前年同月比0.4%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(10月)は、前年同月比42.5%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った」

企業倒産(10月)は、件数は29件(前年同月比70.5%増)と前年実績を上回り、負債総額は4,255百万円(同35.4%減)と前年実績を下回った。

<トピックス>



Deloitte.
デロイト トーマツ

参加無料!!!
12/17 (火)
13:30-17:00
(先着80名)

Shizuoka Innovation DRIVE 中間発表会のご案内

静岡県事業 Shizuoka Innovation DRIVEでは、静岡県で課題解決を目指すビジネスアイデアを実現させるための事業化検証支援プログラム（DRIVE-Incubate）と、県内企業とスタートアップの共創による課題解決型プログラム（DRIVE-Accelerate）の採択者による中間発表会を、**Morning Pitch in 静岡**のコラボレーションのもと行います。

当イベントは、課題解決に向けた登壇者の取組みを広く知っていただき、聴講者の皆様の応援・協力のもと、共創により一緒に地域を盛り上げていくことを目指しています。

静岡県を舞台に、事業による課題解決を促進する全15チームのプレゼンを体感してみませんか？当日は名刺交換・交流会もございますので、ぜひご来場ください！

日時

2024年12月17日（火）13時30分～17時（13時より受付開始）

会場

有限責任監査法人トーマツ静岡事務所17階セミナールーム

住所：静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー17階

対象

- 静岡県の共創に向けた取組みに興味がある事業者
- 登壇企業との提携・協力、取引を望む企業様、公的団体様
- 新規事業創出や社内活性化を求める大手企業様

お申込みフォーム
はこちら↓↓↓



主催：静岡県 協力：Morning Pitch in 静岡

<トピックス>

令和6年度 静岡県 ダイバーシティ経営企業表彰

対象

県内に主たる事務所又は事業所を有する中小企業等(社会福祉法人、学校法人、医療法人、NPO法人、協同組合等を含む)であって、今後もその活躍が期待できるもの

評価項目

1 人事管理制度

- ①多様な人材が活躍している。
- ②多様な人材の能力開発をしている
- ③多様な人材がいきいきと活躍できる職場環境づくりをしている。
- ④多様な働き方を導入し、利用実績がある。

2 管理職の取組

- ⑤管理職は、部下がいきいきと活躍できる職場環境づくりをしている。

3 組織風土

- ⑥誰もが休みを取りやすい環境である。
- ⑦業務内外で活発なコミュニケーションが行われている。

4 経営者の取組

- ⑧経営者は、多様な人材が活躍することを経営理念として位置づけ、経営戦略・人材戦略を策定し、実践している。

5 成果

- ⑨ダイバーシティ経営に取り組んだ結果、経営上の成果や人材確保につながっている。
- ⑩県内中小企業等におけるダイバーシティ経営の模範となれる企業等である。

応募締切

12月18日(水)

表彰

知事褒賞

原則として5社以内とします。

応募方法

応募用紙等を静岡県労働雇用政策課あて、郵送またはメールによりお送りください。

[住所] 〒424-8601 静岡県葵区追手町9番6号
[Mail] roudou-koyou@pref.shizuoka.lg.jp

詳細は静岡県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/shuroshien/rodoseisaku/1003248/1066688.html>



問い合わせ先

静岡県 経済産業部 就業支援局 労働雇用政策課

TEL:054-221-2817 FAX:054-271-1979

<トピックス>



富士山静岡空港

静岡＝香港線

12月17日(火)から
運航開始

#グルメ

#ナイト
ビュー

#ストリート
アート
など

香港で楽しめることは盛りだくさん。

さあ、行こう!

静岡から香港旅へ。



運航スケジュール 週3往復(火・木・土)

火・木	香港発 9:15 → 静岡発 13:45
	静岡発 14:45 → 香港発 18:40
土	香港発 8:55 → 静岡発 13:45
	静岡発 14:45 → 香港発 19:00

(記載時間は全て現地時間となります。日本と香港の時差：-1時間)

航空券購入先

香港エクスプレス
公式サイト



<https://www.hkexpress.com>

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

9月 = 36,839百万円

*前年同月比： 3.1%増

(県内3百貨店、160スーパー合計)

<概況>

9月の大型小売店販売額は36,839百万円で、前年同月比 3.1%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 8.9%増）が3か月ぶり、スーパー（同 2.2%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、身の回り品（同 16.2%減）が13か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品（同 7.7%増）が3か月ぶり、飲食料品（同 2.3%増）が2か月連続、家庭用品（同 7.3%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は3.9%増と、9か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額(百万円)	34,996	38,742	36,018	37,407	38,043	39,061	39,920	36,839
前年同月比(%)	1.8	3.6	▲1.3	▲0.7	3.7	▲0.7	5.0	3.1
うち百貨店(%)	▲2.7	▲1.4	▲5.3	▲0.1	5.2	▲1.8	▲6.9	8.9
スーパー(%)	2.6	4.6	▲0.6	▲0.8	3.4	▲0.5	6.7	2.2
(参考1)全国前年同月比(%)	7.2	6.4	2.7	4.1	6.6	1.1	4.4	1.8
うち百貨店(%)	13.7	9.8	8.5	13.9	13.8	5.3	3.8	2.2
スーパー(%)	4.9	5.1	0.6	0.6	3.9	▲0.6	4.6	1.6
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	4.3	6.2	1.1	0.6	5.0	0.6	5.2	3.9

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
衣料品	▲1.6	▲4.1	▲6.1	▲5.5	2.3	▲9.7	▲6.2	7.7
うち紳士服・洋品	0.0	▲5.6	▲3.2	▲4.8	4.9	▲10.2	▲3.7	▲1.8
婦人・子供服・洋品	▲1.6	▲3.3	▲6.6	▲5.3	1.9	▲10.1	▲6.6	10.8
身の回り品	▲17.0	▲1.8	▲18.4	▲22.2	▲5.8	▲21.6	▲25.1	▲16.2
飲食料品	2.7	4.6	▲0.2	0.1	3.7	0.0	6.9	2.3
家庭用品	▲0.3	10.5	1.1	2.6	▲4.1	1.1	12.1	7.3
うち家庭用電気機械器具	1.6	7.7	3.6	6.1	▲5.5	8.6	17.2	13.6

(注)店舗数調整済、全月速報値

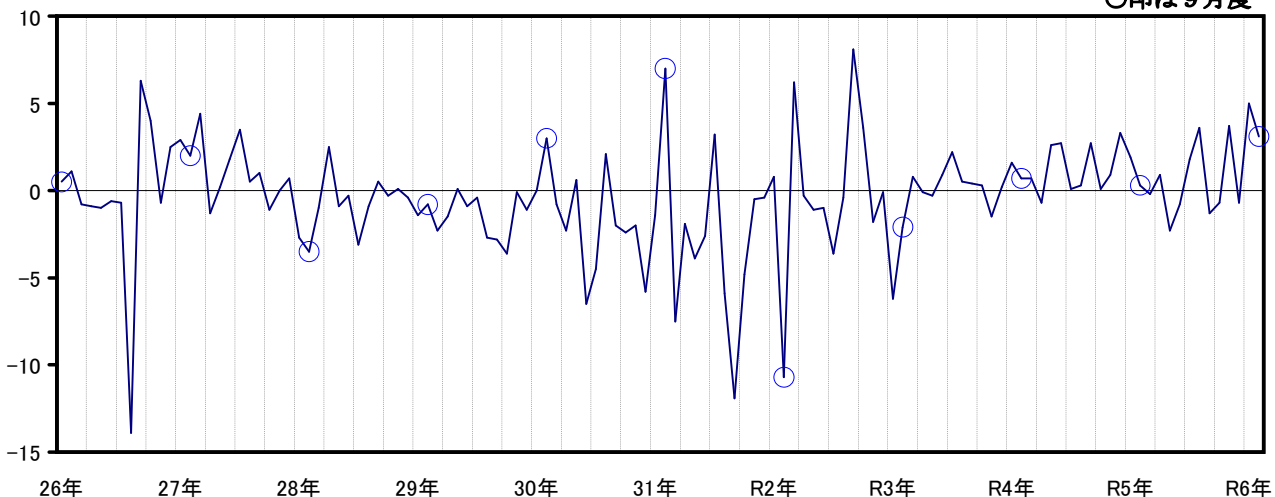
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は9月度



(2) 専門量販店等販売額

9月 = 77,100百万円

*前年同月比：1.3%増

(県内93家電大型専門店、1,659コンビニエンスストア、615ドラッグストア、111ホームセンター合計)

<概況>

9月の専門量販店等販売額は77,100百万円で、前年同月比1.3%増となり、33か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比0.5%減）が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同5.3%増）が4か月連続、ドラッグストア（同1.5%増）が41か月連続、ホームセンター（同2.8%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額（百万円）	70,910	80,428	75,755	77,410	78,430	85,399	84,904	77,100
前年同月比（%）	3.9	3.4	0.8	1.1	4.3	1.5	5.2	1.3
うち 家電大型専門店（%）	▲7.4	4.0	▲2.6	▲5.5	9.3	3.6	8.6	5.3
コンビニエンスストア（%）	3.6	▲0.5	▲0.7	0.3	0.9	0.2	0.8	▲0.5
ドラッグストア（%）	8.7	6.7	3.3	4.0	6.5	3.4	7.4	1.5
ホームセンター（%）	▲0.6	4.1	0.4	▲0.3	3.6	▲3.1	11.6	2.8
(参考)全国前年同月比（%）	5.6	4.1	2.5	2.8	5.0	1.7	3.8	1.7

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

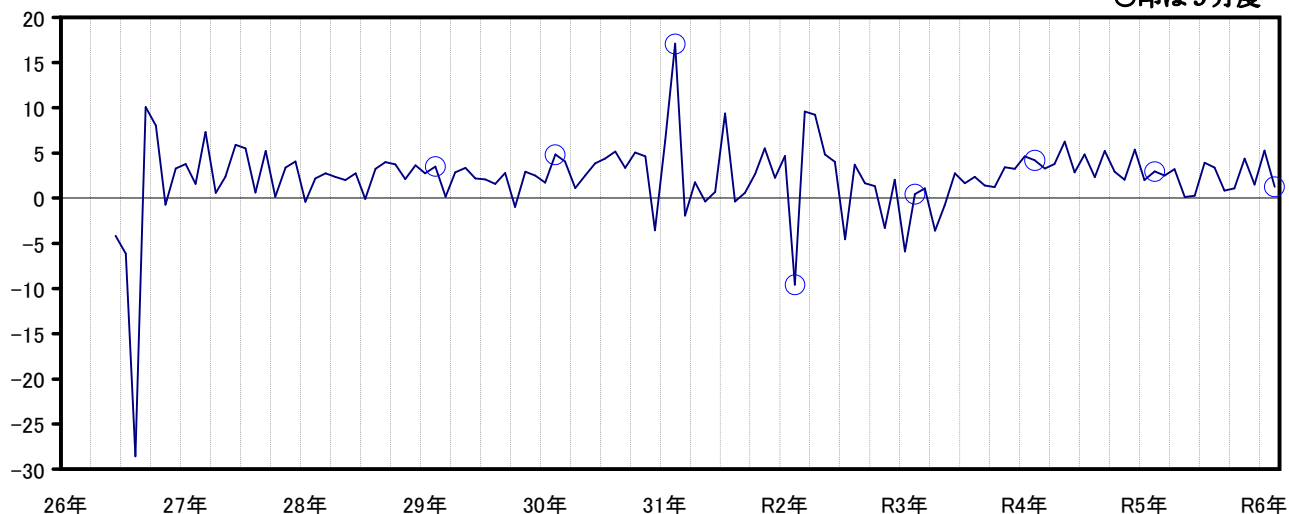
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は9月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数 **9月 = 14,498 台**

*前年同月比： 1.5%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

9月の自動車(新車)新規登録台数は14,498台で、2か月連続で前年実績を下回った。
 車種別にみると、乗用車(前年同月比 1.9%減)が3か月ぶり、軽自動車(同 1.0%減)が2
 か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録台数(台)	12,779	15,695	10,544	10,295	12,435	13,289	10,981	14,498
前年同月比(%)	▲ 19.4	▲ 20.9	▲ 11.5	▲ 8.8	▲ 4.4	9.7	▲ 1.3	▲ 1.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 16.2	▲ 19.6	▲ 10.6	▲ 3.9	▲ 6.1	5.5	▲ 3.2	0.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移> (単位：%)

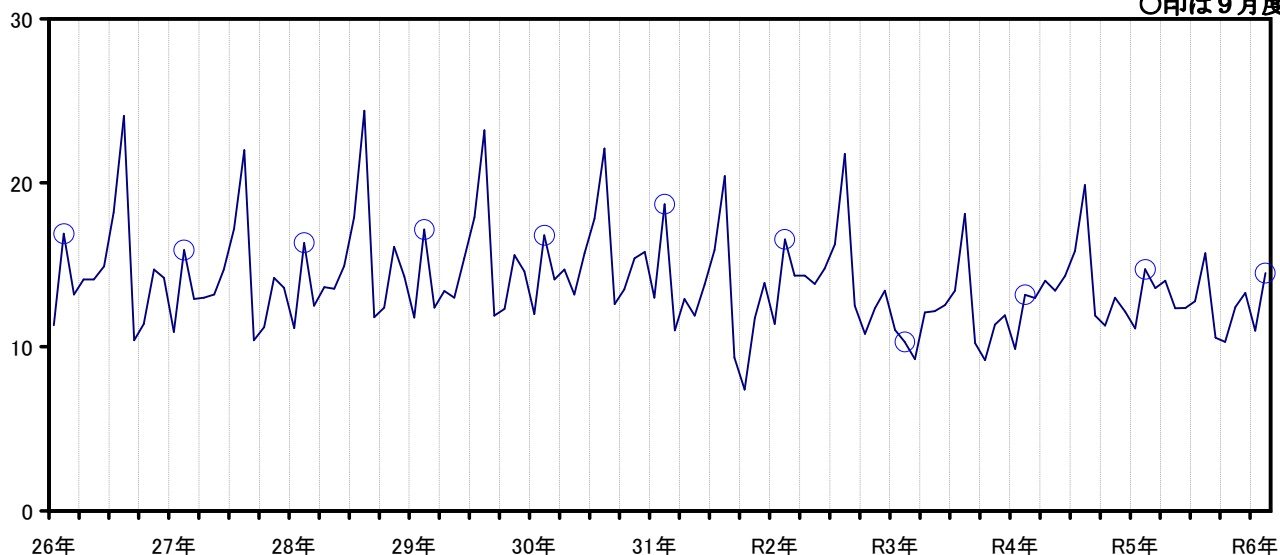
	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全乗用車	▲ 19.4	▲ 20.9	▲ 11.5	▲ 8.8	▲ 4.4	9.7	▲ 1.3	▲ 1.5
乗用車	▲ 13.6	▲ 16.2	▲ 1.5	▲ 4.3	▲ 2.7	4.3	1.6	▲ 1.9
軽自動車	▲ 25.6	▲ 26.5	▲ 22.5	▲ 13.9	▲ 6.3	17.2	▲ 4.4	▲ 1.0

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
 ○印は9月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

9月 = 1,359 戸

*前年同月比： 13.7%減

<概況>

9月の新設住宅着工戸数は1,359戸で、前年同月比 13.7%減と、4か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 4.1%減）、分譲住宅（同 26.3%減）がいずれも4か月連続、貸家（同 22.4%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
戸数（戸）	1,552	1,598	1,750	2,078	1,409	1,638	1,656	1,359
前年同月比（%）	2.8	▲ 3.5	2.2	24.3	▲ 13.1	▲ 4.3	▲ 18.3	▲ 13.7
うち持家（%）	▲ 7.9	▲ 19.5	▲ 0.4	2.5	▲ 2.2	▲ 6.1	▲ 8.0	▲ 4.1
貸家（%）	41.0	15.6	64.1	▲ 9.2	▲ 24.2	34.7	▲ 31.7	▲ 22.4
分譲住宅（%）	17.3	▲ 7.8	▲ 44.5	115.5	▲ 19.5	▲ 50.9	▲ 10.6	▲ 26.3
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 8.2	▲ 12.8	13.9	▲ 5.3	▲ 6.7	▲ 0.2	▲ 5.1	▲ 0.6

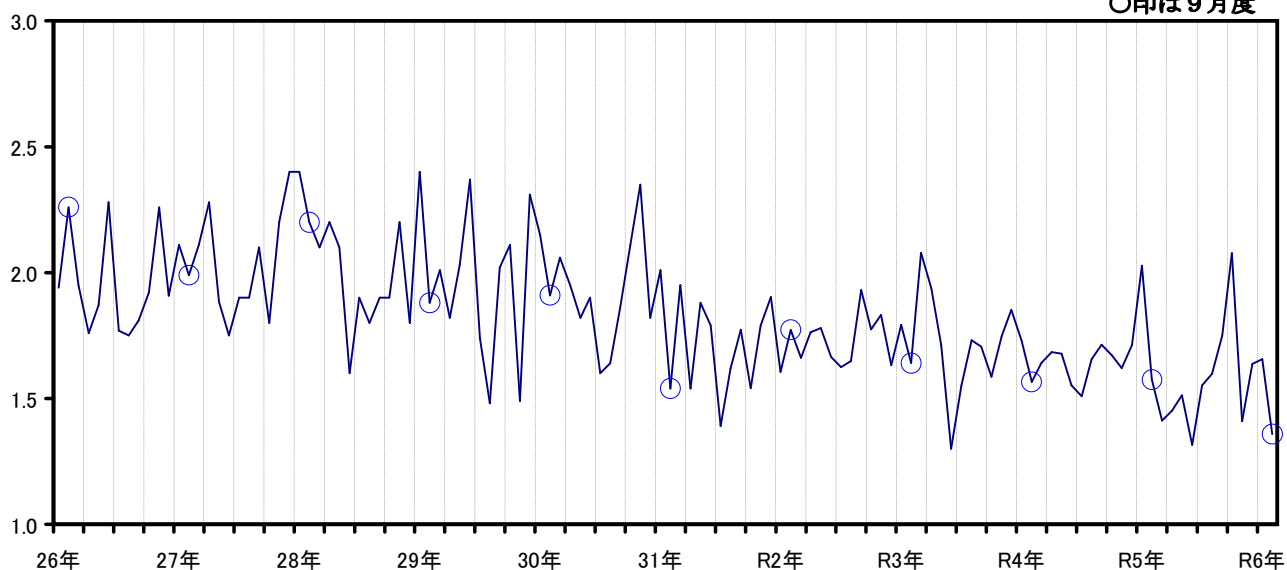
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は9月度



3 公共工事請負金額

9月 = 32,375百万円

*前年同月比： 4.2%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

9月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は32,375百万円で、前年同月比 4.2%減となり、5か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は907件で、前年同月比 2.3%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
金額(百万円)	14,224	23,122	52,491	48,004	37,109	35,109	28,030	32,375
前年同月比(%)	▲26.1	▲23.0	▲3.7	18.1	3.7	29.2	7.0	▲4.2
年度累計前年同月比(%)	1.2	▲1.0	▲3.7	5.6	5.1	9.2	8.9	6.9
件数(件)	192	405	551	670	768	761	723	907
前年同月比(%)	▲39.2	▲35.4	10.2	9.5	▲9.0	0.1	▲4.2	▲2.3
年度累計前年同月比(%)	0.2	▲2.9	10.2	9.8	1.7	1.3	0.1	▲0.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国	65.8	7.6	▲39.9	11.6	15.5	420.0	36.9	▲17.4
独立行政法人等	-	▲87.3	▲78.3	▲16.8	14.9	6.2	▲16.9	▲65.1
県	▲24.0	▲36.6	50.0	17.9	▲20.3	2.4	▲2.8	▲5.6
市町	▲59.7	▲21.8	23.3	53.9	15.4	19.2	2.5	6.5
地方公社	-	-	-	-	242.4	457.0	110.5	-
その他	▲24.2	17.5	▲38.0	▲59.0	▲21.8	683.9	104.9	▲9.8

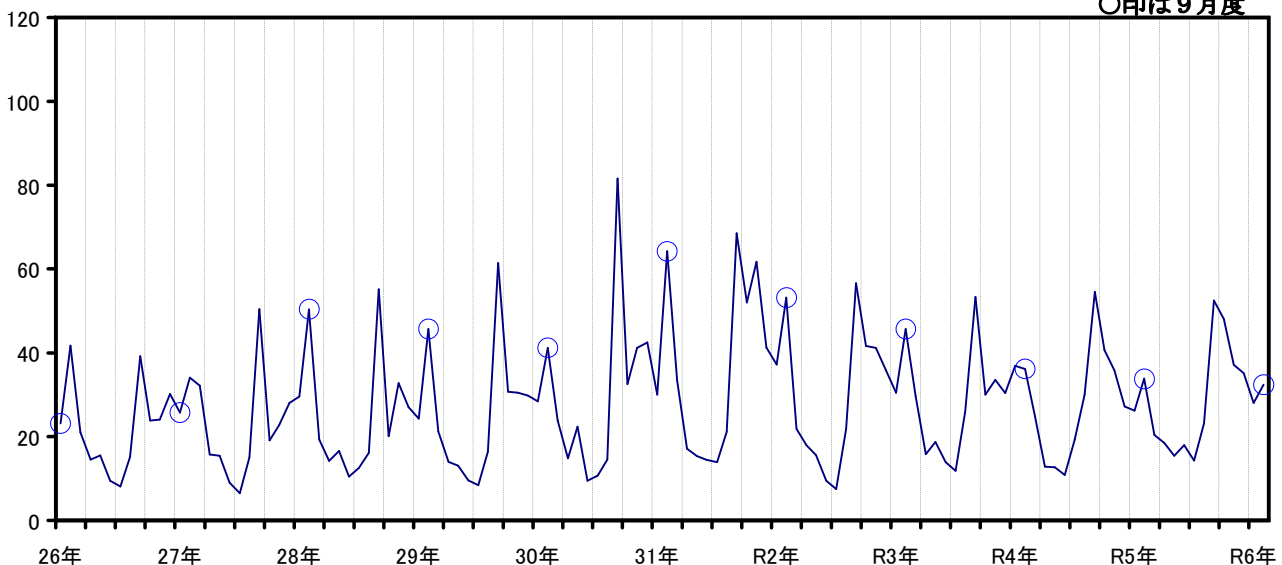
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は9月度



4 設備投資

<概況>

令和5年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加した。

令和6年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 33.4%増）、非製造業（同 1.4%増）、全産業（同 18.3%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 19.4%増）、非製造業（同 2.2%増）、全産業（同 15.3%増）においていずれも増加する計画となっている。

9月の着工建築物床面積（非居住用）は88,251㎡で、前年同月比 67.9%増となり、3か月に前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
全産業	県	7.1	(1.0) 18.3
	全国	10.6	(0.4) 8.9
製造業	県	5.4	(0.9) 33.4
	全国	6.7	(▲0.2) 17.0
非製造業	県	9.0	(1.2) 1.4
	全国	12.8	(0.8) 4.4

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
全産業	県	8.1	(1.3) 15.3
	全国	9.4	(▲0.5) 10.1
製造業	県	8.2	(1.4) 19.4
	全国	6.5	(▲0.1) 12.9
非製造業	県	7.9	(0.9) 2.2
	全国	12.7	(▲0.9) 7.1

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和6年9月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和6年9月調査)」

<最近の動き>

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	263,055	68,223	92,388	142,074	155,246	61,293	67,266	88,251
前年同月比（%）	302.5	▲36.4	18.4	5.7	11.7	▲41.7	▲19.8	67.9
（参考）全国前年同月比（%）	▲13.0	15.7	▲15.8	▲11.8	7.8	▲8.8	▲13.4	▲3.8

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R6年6月	R6年9月	R6年12月 (予測)
全産業		5	11	3
	製造業	▲8	▲2	▲10
	非製造業	17	21	14
（参考）全国・全産業		12	14	11

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和6年9月調査)」

5 輸出

9 月 = 217,157百万円

*前年同月比： 5.9%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸出総額は217,157百万円で、前年同月比 5.9%減となり、6か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 35.0%増）が4か月連続、二輪自動車類（同 1.7%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 17.5%減）が12か月連続、自動車（同 8.6%減）が6か月ぶり、自動車の部分品（同 13.1%減）が15か月ぶり、科学光学機器（同 30.9%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（同 3.6%増）が7か月連続で前年実績を上回ったものの、米国向け（同 8.2%減）が6か月連続、EU向け（同 24.3%減）が7か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出総額(百万円)	226,334	225,732	225,721	194,641	226,638	245,526	206,954	217,157
前年同月比(%)	7.6	▲ 4.1	0.4	1.4	1.1	4.8	3.9	▲ 5.9
(参考)全国前年同月比(%)	7.8	7.3	8.3	13.5	5.4	10.3	5.6	▲ 1.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原 動 機	▲ 16.8	▲ 10.6	▲ 37.0	▲ 24.0	▲ 33.0	▲ 22.0	▲ 28.2	▲ 17.5
エ ア コ ン	▲ 74.0	▲ 73.9	▲ 59.9	▲ 31.2	8.9	1.2	21.4	35.0
自 動 車	103.4	▲ 24.4	46.8	25.4	14.9	2.8	14.1	▲ 8.6
自 動 車 の 部 分 品	41.9	12.0	18.8	10.4	17.1	13.0	4.1	▲ 13.1
二 輪 自 動 車 類	29.5	▲ 10.7	6.9	4.7	▲ 9.1	18.0	23.2	1.7
科 学 光 学 機 器	15.0	8.8	23.3	8.8	25.9	27.7	▲ 10.0	▲ 30.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ア ジ ア	▲ 0.8	5.5	13.0	17.0	6.6	17.3	10.5	3.6
米 国	0.4	5.6	▲ 16.9	▲ 6.1	▲ 4.9	▲ 5.8	▲ 1.3	▲ 8.2
E U	25.7	▲ 27.0	▲ 2.8	▲ 8.2	▲ 9.4	▲ 11.6	▲ 10.5	▲ 24.3

<資料>清水税関支署

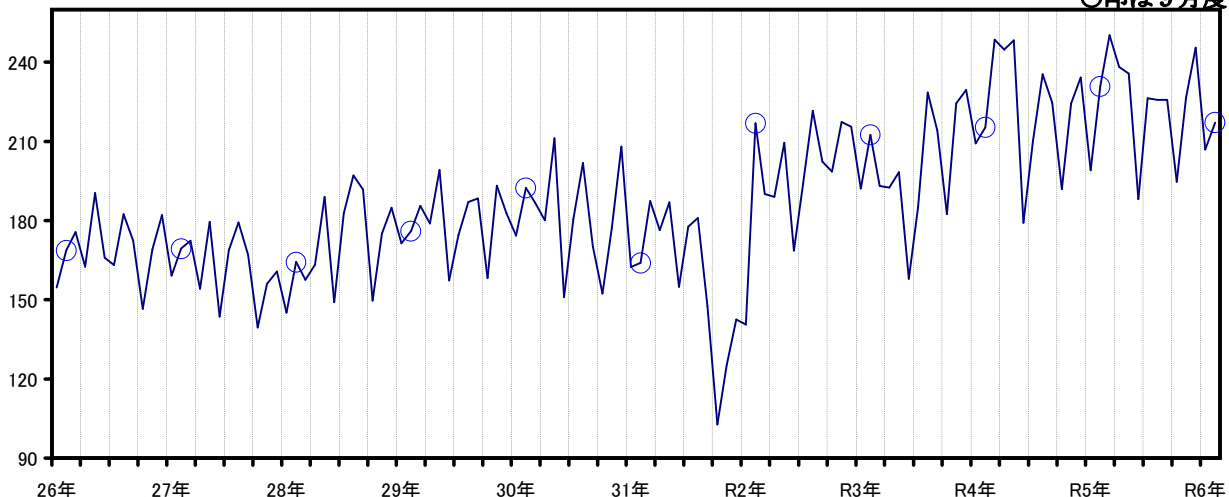
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は9月度



6 輸入

9月 = 116,247百万円

*前年同月比： 1.9%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸入総額は116,247百万円で、前年同月比 1.9%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 21.1%減）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 17.9%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、木材（同 39.4%増）、パルプ（同 16.5%増）、原動機（同 3.2%増）がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品（同 23.3%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（同 13.8%増）が2か月ぶり、米国から（同 26.4%増）が2か月連続、EUから（同 71.7%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸入総額(百万円)	110,710	102,906	121,307	130,649	111,351	124,813	112,253	116,247
前年同月比(%)	▲16.8	▲22.8	▲1.4	6.8	▲10.5	12.0	4.9	1.9
(参考)全国前年同月比(%)	0.5	▲4.9	8.3	9.5	3.2	16.6	2.3	2.1

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
魚介類及び同調製品	10.5	▲6.6	▲47.8	11.3	▲2.0	37.5	5.4	▲21.1
木材	45.0	▲8.2	▲17.4	▲6.0	▲19.1	24.6	▲23.0	39.4
パルプ	8.1	▲18.2	20.3	▲22.8	▲4.2	95.3	▲21.1	16.5
紙類及び同製品	▲18.8	▲12.4	60.1	22.0	12.0	22.5	10.7	23.3
原動機	64.3	20.7	42.9	67.0	30.9	106.5	▲3.2	3.2
自動車の部分品	39.9	31.9	66.8	49.2	4.7	4.2	▲10.0	▲17.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	4.6	▲27.1	17.9	12.5	▲5.2	5.6	▲5.9	13.8
米国	▲72.3	15.1	11.3	▲20.0	▲6.9	▲31.5	23.0	26.4
EU	15.6	24.5	▲43.5	26.3	▲4.1	16.4	24.9	71.7

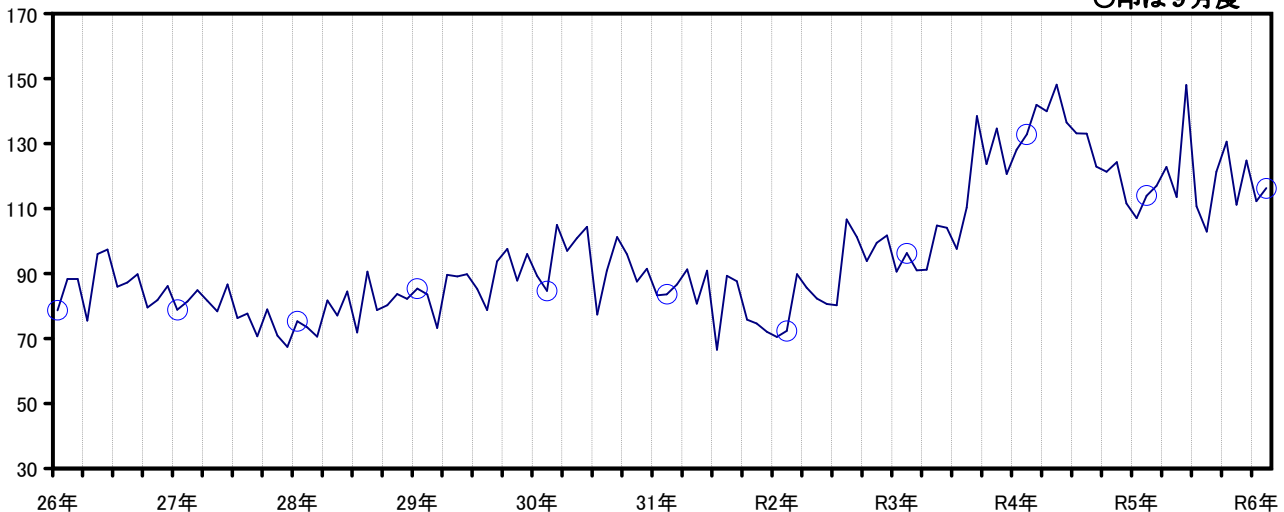
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は9月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

9月 = 95.1

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.7%減

*前年同月比(原指数) : 3.3%減

<概況>

9月の鉱工業生産指数(総合)は95.1(季節調整済指数)で、前月比は0.7%減と、2か月連続で減少した。また、前年同月比(原指数)は3.3%減と、2か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比0.1%増)が5か月ぶり、電気機械(同18.8%増)が2か月ぶり、化学(同3.2%増)が2か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械(同15.1%減)、食料品・たばこ(同4.3%減)がいずれも2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同0.1%減)が6か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	102.2	94.3	96.3	103.3	96.1	98.9	95.8	95.1
前月比(%)	9.5	▲7.7	2.1	7.3	▲7.0	2.9	▲3.1	▲0.7
前年同月比(%)	3.2	▲8.7	▲1.3	4.8	▲9.0	2.8	▲3.5	▲3.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.9	▲6.2	▲1.8	1.1	▲7.9	2.9	▲4.9	▲2.6

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	25.2	▲13.5	2.2	▲11.0	▲13.0	▲5.5	▲15.0	0.1
電気機械工業	▲8.4	▲23.3	▲14.2	▲8.1	▲19.1	9.2	▲3.7	18.8
輸送機械工業	9.4	▲4.4	6.7	12.7	▲3.7	6.1	▲11.7	▲15.1
化学工業	7.2	▲4.4	8.7	21.5	▲11.9	▲6.0	15.9	3.2
パルプ・紙・紙加工品工業	1.6	▲3.7	0.2	2.9	3.2	4.1	2.3	▲0.1
食料品・たばこ工業	▲1.8	▲5.8	▲4.4	5.4	▲8.9	1.1	▲0.7	▲4.3

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

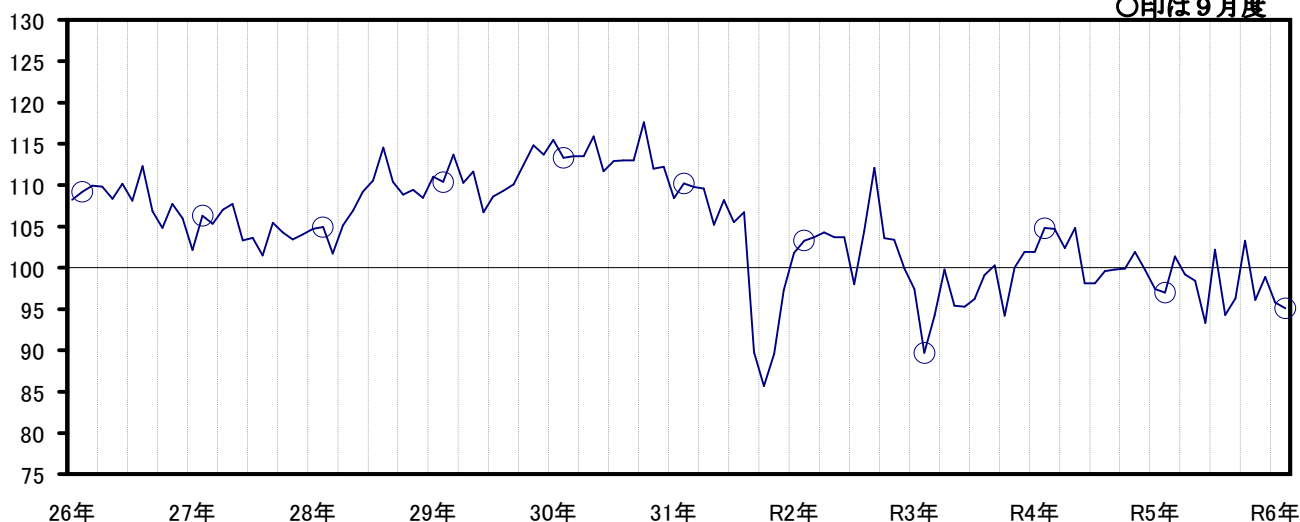
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課

○印は9月度



(2) 鋳工業在庫指数

9 月 = 102.7

(令和 2 年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 4.6%減

*前年同月比(原指数) : 1.5%減

<概況>

9月の鋳工業在庫指数(総合)は102.7(季節調整済指数)で、前月比は4.6%減と、2か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は1.5%減と、3か月ぶりに前年水準を下回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 5.6%増)が4か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 7.1%増)が4か月連続、食料品・たばこ(同 13.1%増)が3か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同 8.9%減)が13か月連続、輸送機械(同 18.9%減)が6か月ぶり、化学(同 3.1%減)が2か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	104.6	105.8	106.2	106.8	104.7	104.2	107.6	102.7
前月比(%)	2.0	1.1	0.4	0.6	▲ 2.0	▲ 0.5	3.3	▲ 4.6
前年同月比(%)	1.0	0.7	0.5	▲ 0.6	▲ 2.6	1.2	2.2	▲ 1.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 1.7	▲ 1.0	▲ 2.4	▲ 2.1	▲ 2.7	▲ 2.5	▲ 2.2	▲ 1.3

(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	31.2	8.3	3.5	1.5	▲ 0.3	▲ 1.3	▲ 0.9	5.6
電気機械工業	▲ 0.4	▲ 4.3	▲ 7.7	▲ 10.6	▲ 19.0	▲ 19.2	▲ 17.3	▲ 8.9
輸送機械工業	▲ 19.8	▲ 8.7	2.6	13.5	3.3	26.8	15.1	▲ 18.9
化学工業	▲ 3.7	▲ 0.6	▲ 1.9	▲ 4.8	▲ 6.6	▲ 4.1	1.2	▲ 3.1
パルプ・紙・紙加工品工業	0.9	2.3	▲ 1.8	▲ 1.9	3.4	1.0	2.7	7.1
食料品・たばこ工業	▲ 0.8	1.8	▲ 1.0	▲ 5.9	▲ 2.3	3.1	8.0	13.1

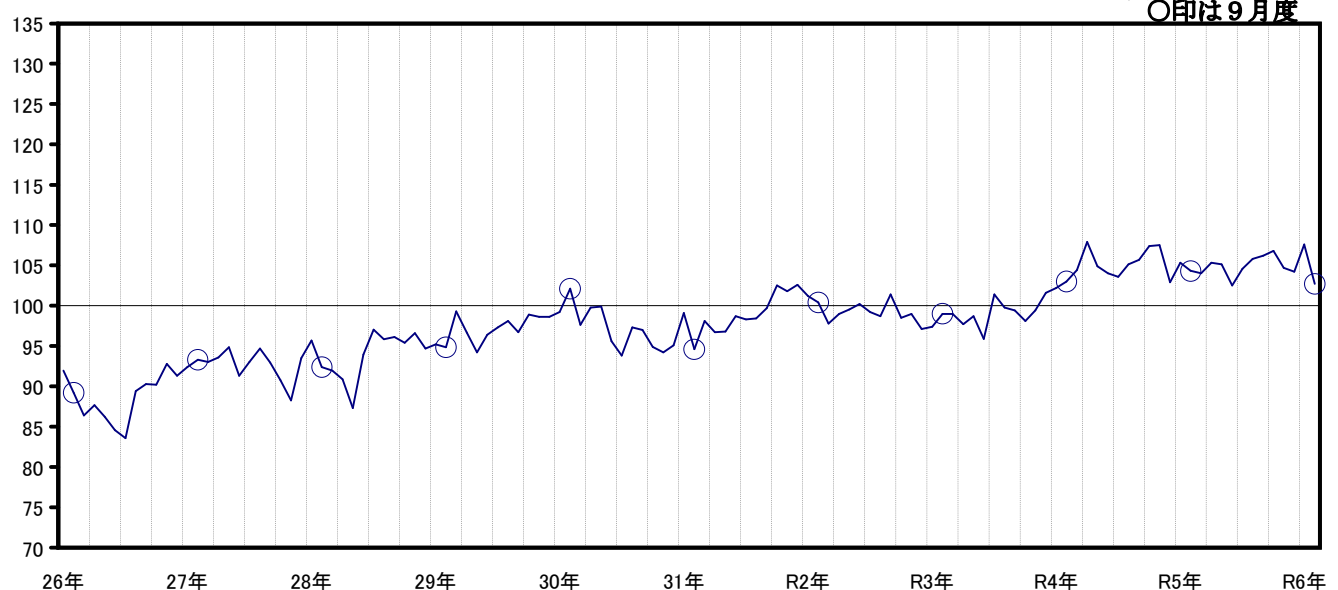
(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和 2 年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

9 月 = 1.12倍

*前月比 (季節調整値) : 0.00ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

9月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.12倍となり、前月と同水準となった。44か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.12ポイント下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比12.5%減)は3か月ぶりに前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業(前年同月比14.4%減)、製造業(同18.3%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同14.9%減)がいずれも2か月連続、卸売業・小売業(同42.6%減)が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、情報通信業(同15.0%増)が12か月連続、運輸業・郵便業(同12.2%増)が3か月ぶり、医療・福祉(同3.9%増)が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
県	1.20	1.18	1.15	1.11	1.09	1.09	1.12	1.12
全 国	1.26	1.28	1.26	1.24	1.23	1.24	1.23	1.24

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建 設 業	7.5	▲2.5	▲2.6	0.5	▲11.8	4.8	▲7.6	▲14.4
製 造 業	▲9.5	▲6.2	▲11.3	▲13.9	▲13.5	5.5	▲12.1	▲18.3
情 報 通 信 業	8.0	40.7	24.7	37.4	44.0	16.6	50.8	15.0
運 輸 業 ・ 郵 便 業	10.6	14.2	▲16.7	▲7.4	4.0	▲9.2	▲1.1	12.2
卸 売 業 ・ 小 売 業	1.8	▲51.3	▲10.3	▲6.4	▲56.5	▲4.1	62.6	▲42.6
医 療 ・ 福 祉	▲3.0	▲1.8	▲7.7	▲2.6	▲0.7	▲5.7	3.6	3.9
サービス業(他に分類されないもの)	▲2.9	▲5.8	▲9.3	▲2.1	▲17.7	2.7	▲12.9	▲14.9
合 計	▲0.2	▲8.3	▲5.7	▲3.9	▲16.0	0.6	4.1	▲12.5

(注)学卒、パートタイムを除く

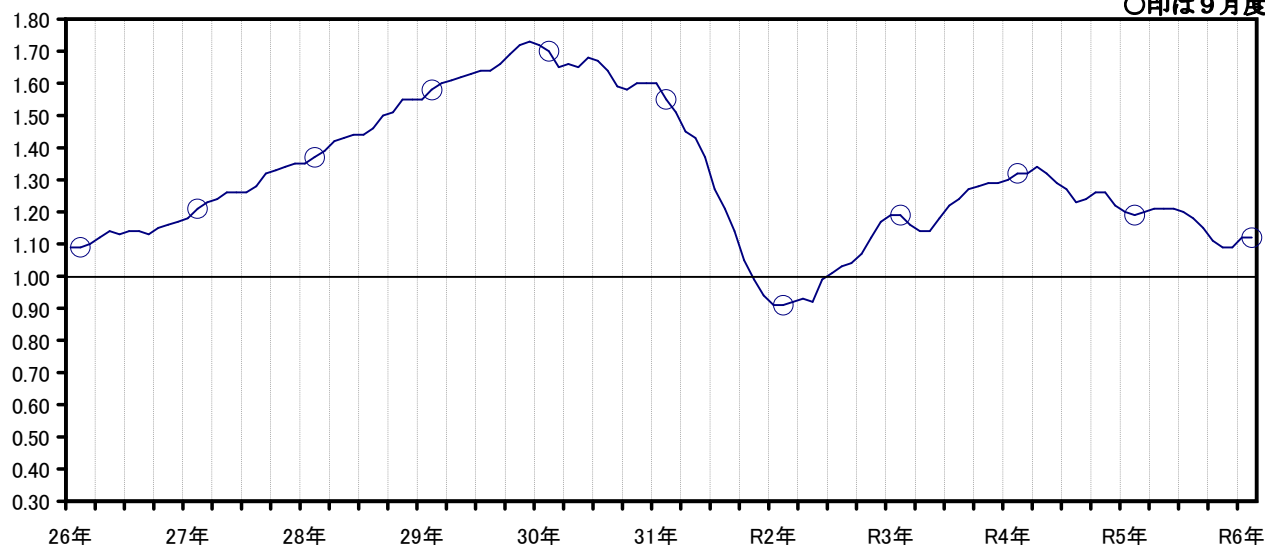
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は9月度



(2) 雇用保険受給者実人員

9月 = 13,188人

*前月比: 2.9%減

*前年同月比: 3.8%増

<概況>

9月の雇用保険受給者実人員は13,188人で、前月比は2.9%減と、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は3.8%増と18か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.4%と前月から0.1ポイント改善した。

静岡県(令和6年4~6月)の完全失業率は2.5%で、前期(令和6年1~3月)から0.3ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人員(人)	11,160	10,594	11,190	12,153	12,470	13,862	13,588	13,188
前月比(%)	▲2.7	▲5.1	5.6	8.6	2.6	11.2	▲2.0	▲2.9
前年同月比(%)	9.6	2.8	11.5	12.2	3.3	9.1	1.9	3.8
(参考)全国前年同月比(%)	5.7	0.6	6.6	4.3	▲1.2	4.6	▲2.7	1.3

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完全失業率(全国)(%)	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5	2.7	2.5	2.4

(注)季節調整値

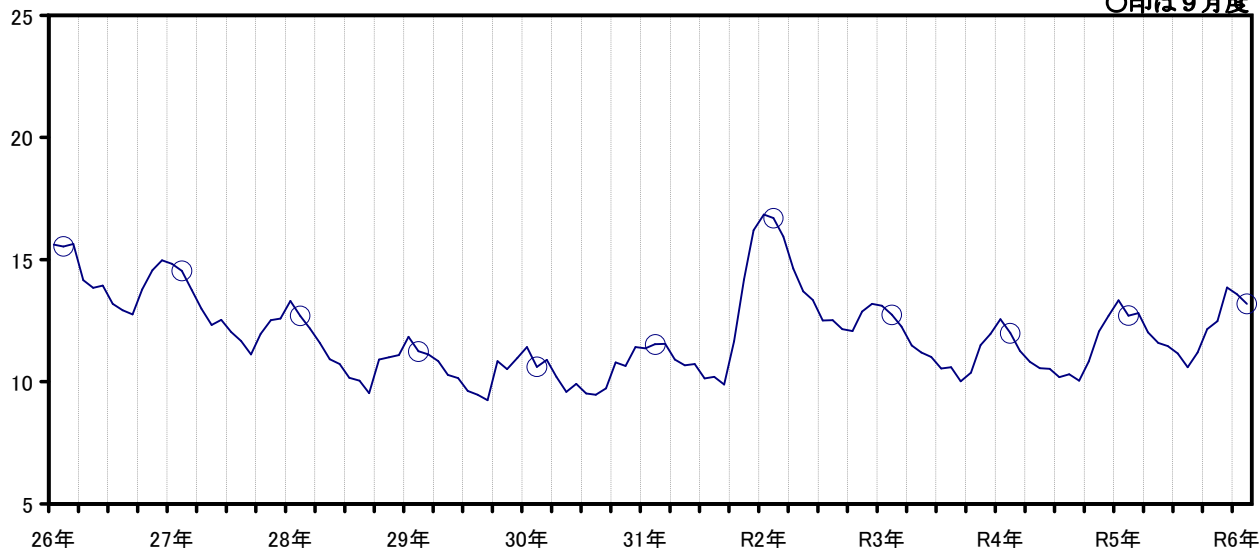
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は9月度



(3) 所定外労働時間指数

8月 = 120.6

*前月比(季節調整済指数): 3.1%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 4.4%増

<概況>

8月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は120.6(季節調整済指数)で、3か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は4.4%増と、8か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比17.5%減)が6か月連続、情報通信業(同26.2%減)が2か月ぶり、運輸業・郵便業(同15.6%減)が8か月連続、医療・福祉(同14.8%減)が10か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同2.1%増)が2か月連続、その他のサービス業(同32.7%増)が8か月連続で前年実績を上回った。卸売業・小売業は前年と同水準となった。

<最近の動き>

	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	126.5	117.5	116.2	127.4	133.3	128.3	124.5	120.6
前月比(%)	6.2	▲7.1	▲1.1	9.6	4.6	▲3.8	▲3.0	▲3.1
前年同月比(%)	7.4	2.5	1.6	8.7	13.0	4.8	5.9	4.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲4.2	▲2.5	▲1.6	▲3.2	▲1.7	▲2.5	▲0.8	▲2.7

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建設業	0.0	2.6	▲12.7	▲16.0	▲11.8	▲11.9	▲15.6	▲17.5
製造業	▲0.7	0.0	▲4.8	▲4.0	2.2	▲2.7	2.8	2.1
情報通信業	▲30.9	▲44.9	▲37.2	▲14.7	▲40.1	▲54.0	16.6	▲26.2
運輸業・郵便業	▲15.8	▲18.0	▲16.4	▲18.0	▲9.1	▲19.1	▲26.1	▲15.6
卸売業・小売業	▲3.9	▲6.0	▲3.0	▲9.9	0.0	4.9	4.5	0.0
医療・福祉	▲27.2	▲18.8	▲1.4	▲4.3	▲11.6	▲26.6	▲15.9	▲14.8
その他のサービス業	35.4	15.3	24.8	9.7	30.7	31.8	27.1	32.7
調査産業計	7.4	2.5	1.6	8.7	13.0	4.8	5.9	4.4

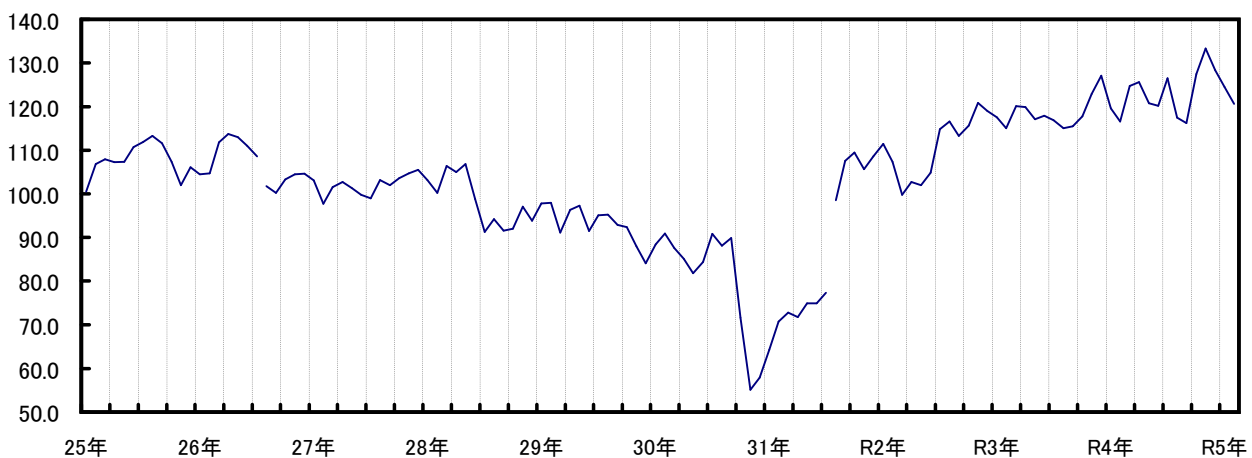
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

10月 = 123.7

*前月比: 0.2%上昇

(令和2年=100)

*前年同月比: 3.4%上昇

<概況>

10月の国内企業物価指数は123.7となり、前月比は0.2%の上昇となった。また、前年同月比は3.4%の上昇となった。

	R6年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国内企業物価指数	120.9	121.5	122.4	122.7	123.4	123.1	123.5	123.7
前月比 (%)	0.3	0.5	0.7	0.2	0.6	▲ 0.2	0.3	0.2
前年同月比 (%)	0.9	0.9	2.3	2.6	3.1	2.6	3.1	3.4

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

9月 = 143,445億円

*前月比: 0.3%増

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 0.4%増

<概況>

9月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は143,445億円で、前月比とは0.3%の増加となった。また、前年同月比は0.4%の増加となった。

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出残高(億円)	142,386	143,735	142,010	142,324	142,969	142,553	142,956	143,445
前月比 (%)	0.1	0.9	▲ 1.2	0.2	0.5	▲ 0.3	0.3	0.3
前年同月比 (%)	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 1.1	▲ 0.4	0.2	0.2	0.7	0.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

8月 = 1.279%

*前月差: 0.011ポイント増

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.010ポイント増

<概況>

8月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.279%で、前月から0.011ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.010ポイントのプラスとなった。

	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出約定金利 (%)	1.254	1.253	1.256	1.262	1.272	1.266	1.268	1.279
前月差(ポイント)	0.000	▲ 0.001	0.003	0.006	0.010	▲ 0.006	0.002	0.011
前年同月差(ポイント)	▲ 0.044	▲ 0.043	▲ 0.036	▲ 0.029	▲ 0.014	▲ 0.013	▲ 0.004	0.010

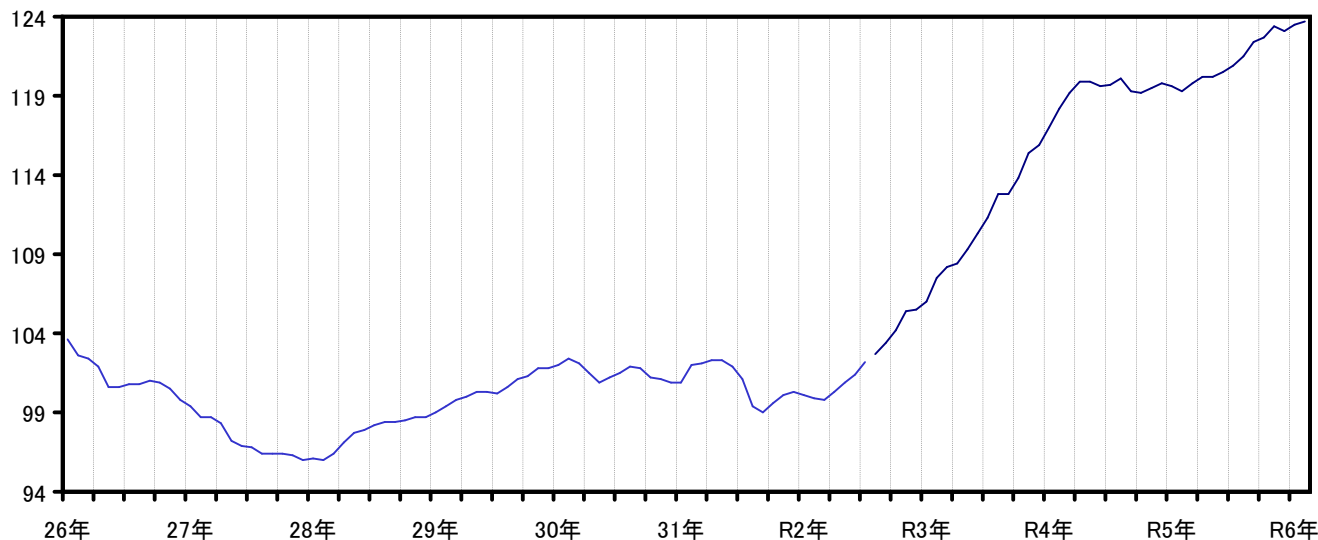
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

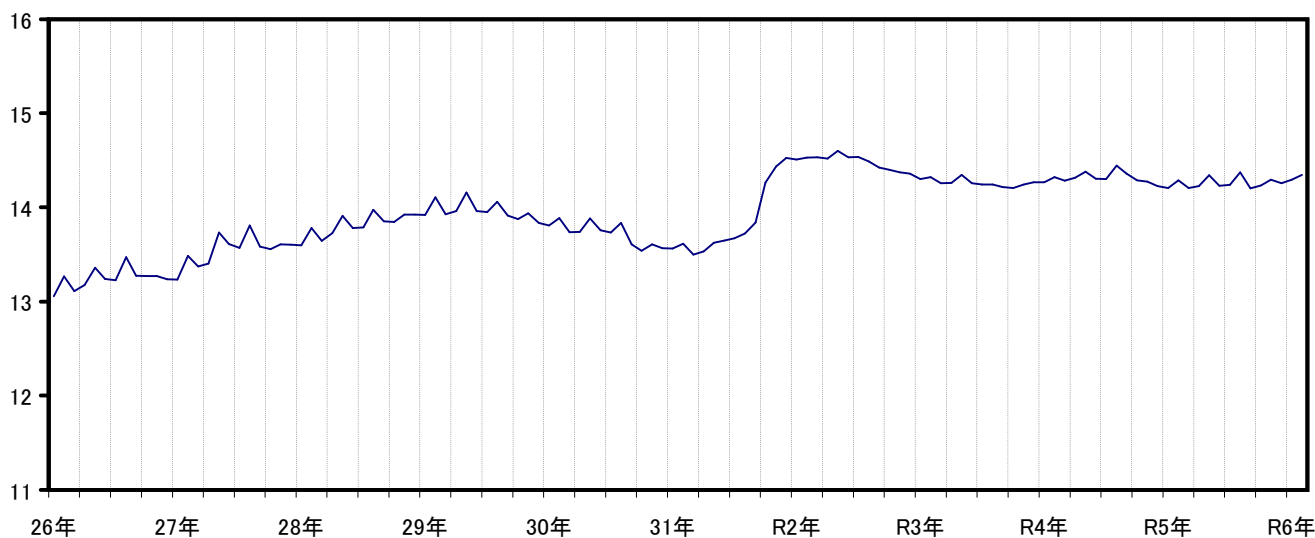
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



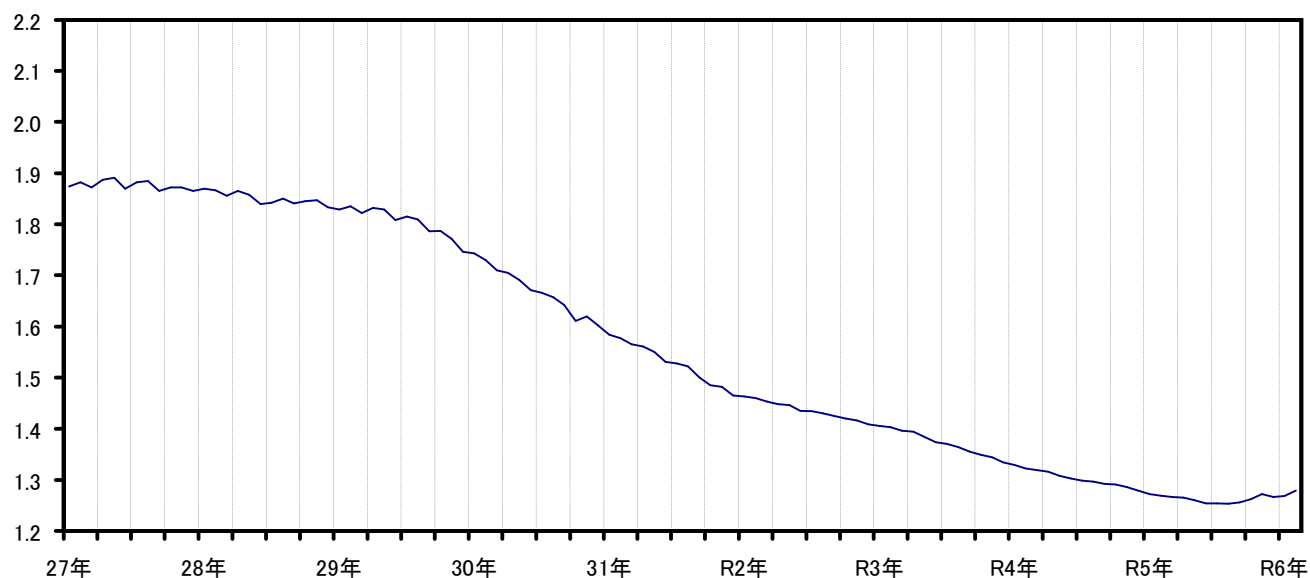
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**10月 = 12,710百万円**

*前年同月比： 42.5%減

<概況>

10月の保証承諾は、金額は12,710百万円（前年同月比 42.5%減）、件数は1,296件（同 22.4%減）と、いずれも前年実績を下回った。

	R 6年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
保証金額（百万円）	39,164	16,255	21,666	30,317	22,931	14,037	14,144	12,710
前年同月比（%）	8.9	5.6	▲ 5.2	6.8	▲ 9.6	▲ 47.3	▲ 40.5	▲ 42.5
保証件数（件）	2,561	1,369	1,711	2,159	1,803	1,387	1,481	1,296
前年同月比（%）	4.2	5.1	4.5	4.5	4.2	▲ 29.6	▲ 20.4	▲ 22.4

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**10月 = 149.63円/ドル**

*前月差： 6.25円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 0.10円安

<概況>

10月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は149.63円で、前月と比べて 6.25円の円安となり、3か月ぶりに円安となった。

<最近の動き>

	R 6年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平均相場（円）	149.63	153.43	156.13	157.82	158.06	146.23	143.38	149.63
前月差（円）	0.21	3.80	2.70	1.69	0.24	▲ 11.83	▲ 2.85	6.25
前年同月差（円）	15.78	20.10	18.76	16.63	16.85	1.46	▲ 4.29	0.10

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****10月 = 29件**

*前年同月比： 70.5%増

<概況>

10月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は29件（前年同月比 70.5%増）と前年実績を上回り、負債総額は4,255百万円（同 35.4%減）と前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が22件と全体の75.9%を占め、27か月連続で50%以上となっている。

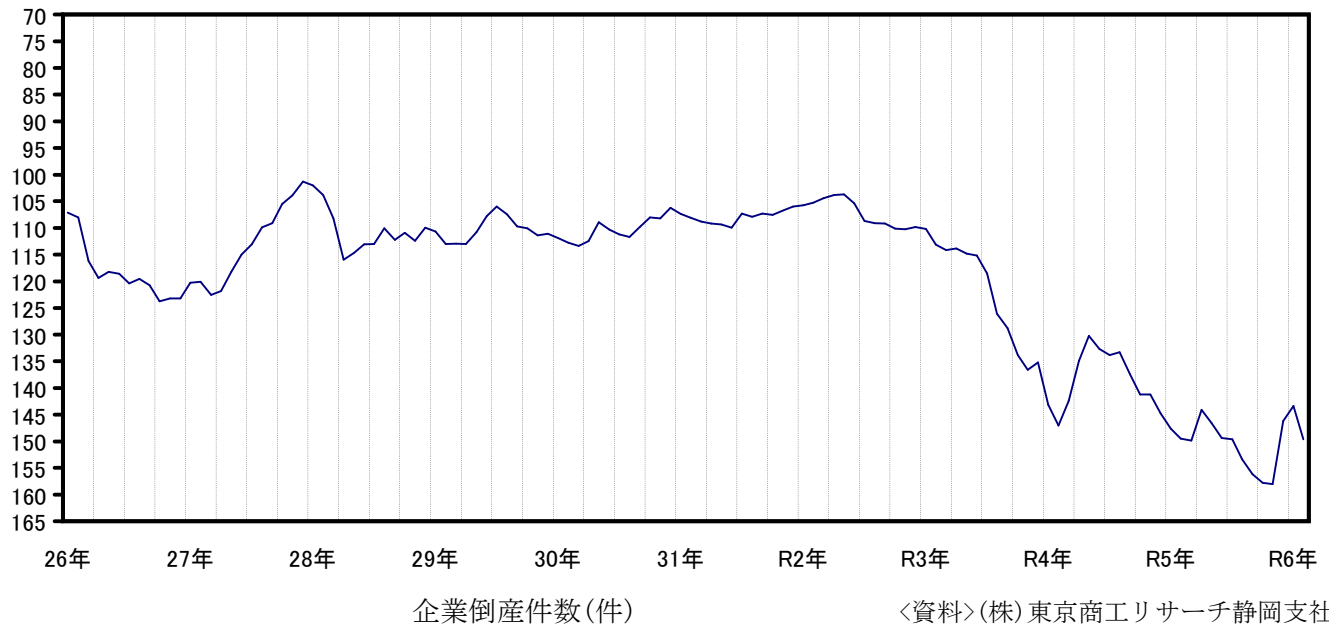
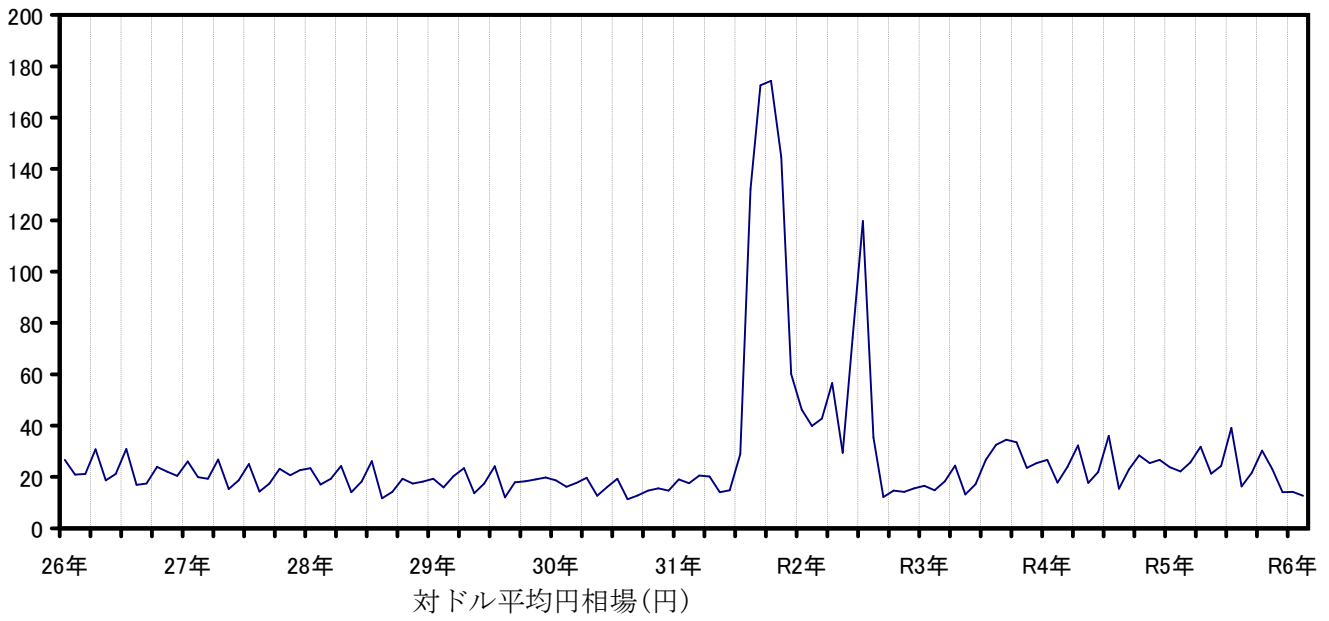
	R 6年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
倒産件数（件）	18	22	22	13	26	12	21	29
前年同月比（%）	▲ 40.0	100.0	29.4	▲ 13.3	8.3	▲ 20.0	▲ 32.2	70.5
うち不況型倒産件数(件)	15	19	19	10	21	10	21	22
負債総額（百万円）	4,633	2,360	10,415	1,340	8,443	2,029	2,843	4,255
前年同月比（%）	26.2	276.3	200.1	▲ 17.7	▲ 57.1	▲ 9.7	70.6	▲ 35.4

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

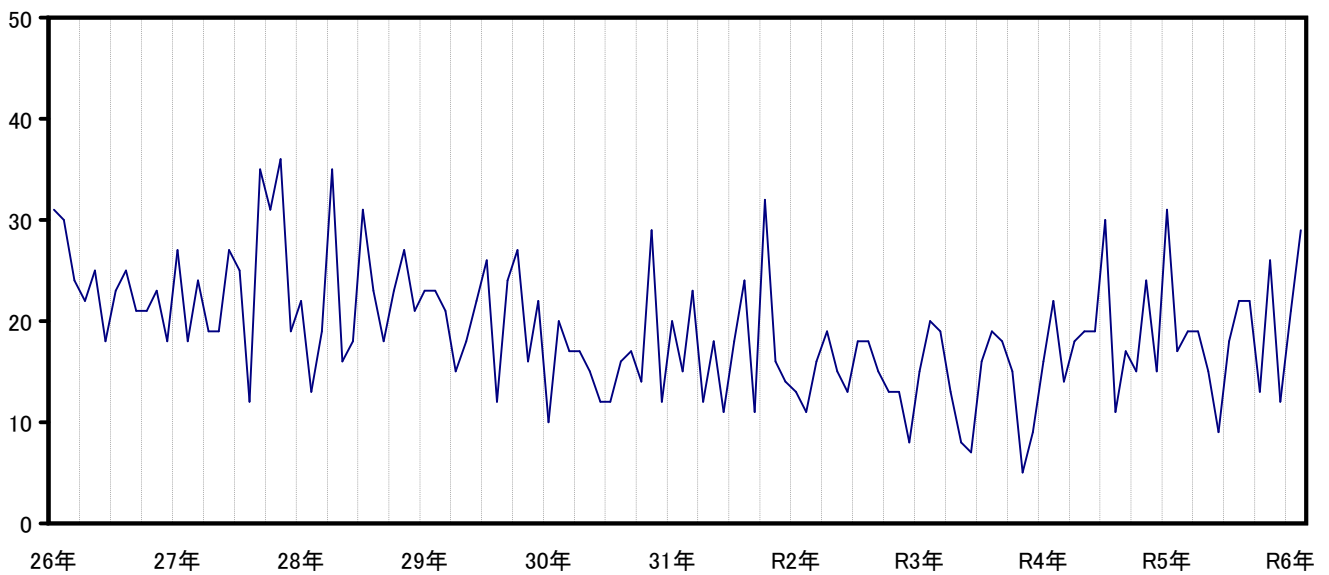
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和6年9月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>8月の国内二輪車生産台数は、40,619台（前年同月比 17.6%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、8,987台（同 19.6%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,247台（同 30.4%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、6,914台（同 78.0%増）で2か月ぶりに前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、21,471台（同 39.3%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、20,036台（同 32.6%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、26,690台（同 9.8%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>8月の自動車国内生産台数は、540,881台（前年同月比 15.4%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。輸出は294,158台（同 17.1%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが4か月ぶり、乗用車が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>9月の冷蔵庫の国内出荷額は357億円（前年同月比 13.1%減）で、7か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数も275千台（同 8.2%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>9月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは601千台（同 0.5%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。業務用は75千台（同 2.6%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>9月の携帯電話の国内出荷台数は、583千台（同 19.2%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、503千台（同 7.7%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は86.4%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用機械	<p>9月の工作機械の受注総額は、1,253億6,000万円（前年同月比 6.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は838億3,100万円（同 5.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが428億600万円（同 32.2%増）で、6か月連続で前年実績を上回った。内需は415億2,900万円（同 7.8%減）で、25か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内関連団体からは、「親会社の当初の予測として、今年の後半から受注量の増加が見込まれていたが、見通しが立たないほど遅れている。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

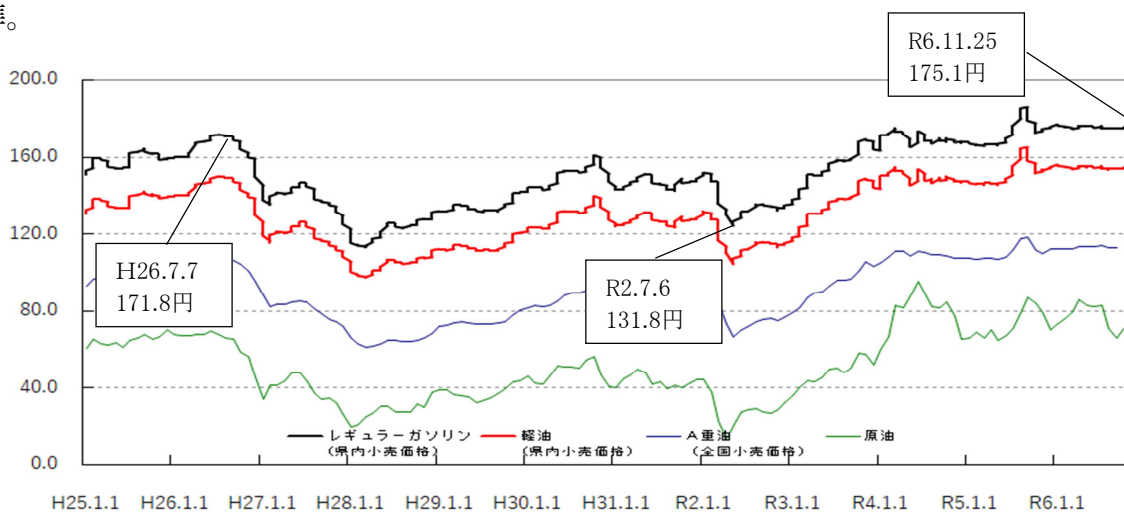
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>9月の県内楽器メーカーの販売金額は、51億640万円（前年同月比 10.7%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが31億6,168万円（同 20.5%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回り、国内向けが19億4,472万円（同 11.8%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>ピアノ生産台数は1,873台（同 38.3%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,007台（同 48.6%減）、グランドピアノが866台（同 19.6%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,488台（同 33.7%減）で、15か月連続で前年実績を下回り、国内向けが907台（同 10.2%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>9月の紙・板紙の国内出荷高は、1,634千ト（前年同月比 2.8%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は770千ト（同 4.2%減）で、25か月連続で前年実績を下回った。板紙は865千ト（同 1.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、405千ト（同 3.4%減）で、25か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレトペーパー等の家庭紙は、150千ト（同 3.5%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>9月の県内生産量は、食缶類が国内向け965千箱（前年同月比 0.3%増）で2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は723千箱（同 8.0%増）で2か月ぶりに前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は474千箱（同 5.8%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は242千箱（同 17.3%減）で3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,447千箱（同 9.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>9月の広幅織物の県内生産は、815千㎡（前年同月比 1.8%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、778千㎡（同 2.5%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、37千㎡（同 11.3%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、17千㎡（同 5.7%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>9月の全国百貨店での家具販売額は、45億2,170万円（前年同月比 13.2%増）と3か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、511億2,495万円（同 1.5%増）と6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>9月の県内百貨店・スーパーの販売額は、36,839百万円（既存店前年同月比3.1%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、身の回り品が前年同月の実績を下回ったものの、衣料品、飲食料品及び家庭用品が前年同月の実績を上回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げが増加した。特に衣料、家庭用品、雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった。</p> <p>中部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。市内イベントの影響による来客数の増加に伴い、売上げが好調だった。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げは減少し、来客数は同程度であった。物価高騰の影響により販売価格が上昇したことで、買い控えが見られた。</p> <p>西部の総合スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加したが、1人当たりの来店頻度が増加したことにより、客単価は減少した。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和6年9月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約31万人で、前年同月比17.0%減となった。</p> <p>9月は、イベントの実施等により入込客数が増加した施設もあったが、記録的猛暑に加え天候が不安定で、屋外施設を中心に入込客数が減少した。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約59万台となり、前年同月比1.7%増となった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー175.1円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター

IV データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完成車生産台数(台)	22,741	24,611	24,963	25,290	21,653	22,084	23,027	19,633	23,502
前年同月比(%)	▲ 7.2	▲ 8.3	▲ 9.4	9.9	▲ 7.2	▲ 23.5	40.3	5.0	25.7
KD輸出額(百万円)	1,153	1,377	1,159	1,103	655	716	947	717	604
前年同月比(%)	▲ 22.7	▲ 12.6	▲ 30.3	▲ 36.9	▲ 45.8	▲ 9.2	▲ 29.9	▲ 17.9	▲ 30.9

<楽 器>

	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生産総額(百万円)	2,913	3,545	3,573	3,468	3,503	3,339	3,619	2,621	2,960
前年同月比(%)	3.0	7.6	1.3	6.1	1.9	▲ 16.8	▲ 3.2	▲ 10.2	▲ 15.1

<缶 詰>

	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
食缶生産高(千ケース)	855	910	880	932	925	969	1,047	869	965
前年同月比(%)	▲ 6.4	▲ 0.1	▲ 14.0	▲ 7.5	1.0	▲ 3.3	2.6	▲ 8.9	0.3
うち水産缶詰(%)	▲ 0.8	12.6	▲ 6.3	▲ 3.5	0.7	▲ 1.9	7.2	▲ 0.7	8.0
農畜産缶詰(%)	▲ 18.4	▲ 25.2	▲ 30.1	▲ 17.7	1.7	0.4	▲ 10.0	▲ 27.0	▲ 17.3
飲料缶生産高(千ケース)	5,292	6,130	7,231	6,743	7,363	7,220	7,596	7,061	6,447
前年同月比(%)	4.5	0.0	▲ 3.2	▲ 14.0	▲ 4.1	▲ 3.7	3.3	▲ 0.4	▲ 9.9

<織 維>

	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
広幅織物(千㎡)	983	932	928	905	751	717	659	616	815
前年同月比(%)	31.5	34.8	31.2	33.9	16.6	3.5	▲ 2.4	▲ 9.1	1.8
小幅織物(千㎡)	16	16	18	17	16	18	18	16	17
前年同月比(%)	1.2	0.7	▲ 1.1	▲ 9.4	▲ 16.9	▲ 6.4	▲ 5.7	7.4	▲ 5.7

<観 光>

	R 6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,659	1,787	2,091	1,720	1,776	1,500	2,049	2,538	1,752
前年同月比(%)	17.1	22.9	9.3	4.4	▲ 2.7	4.5	6.6	▲ 3.0	▲ 2.1
観光施設(10施設)入込 (千人)	245	232	361	634	783	293	297	389	312
前年同月比(%)	▲ 33.5	▲ 31.4	▲ 29.8	37.2	44.2	▲ 7.2	▲ 14.3	▲ 11.4	▲ 17.0
有料道路(4路線)通行 量(千台)	564	575	645	661	698	583	626	687	594
前年同月比(%)	2.9	3.3	0.2	17.9	14.8	11.4	0.1	▲ 1.0	1.7

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和6年11月号 通巻583号

発行 静岡県経済産業部
令和6年11月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>